

労働力調査（基本集計）

2022年（令和4年）10～12月期平均

結果の概要

[全国]

- ・ 就業者数は6732万人と、前年同期に比べ30万人の増加
- ・ 完全失業者数は167万人と、前年同期に比べ13万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.4%と、前年同期に比べ0.2ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、南関東、北関東・甲信、東海、近畿、中国及び沖縄は増加、北海道、東北、北陸、四国及び九州は減少
 - ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、北海道、南関東、北関東・甲信、北陸、東海及び中国は減少、近畿、四国及び沖縄は同数、東北及び九州は増加
 - ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり
- | | | | | | |
|--------|------|-------------|----|------|-------------|
| 北海道 | 2.7% | (0.3ポイント低下) | 近畿 | 2.7% | (0.1ポイント低下) |
| 東北 | 2.7% | (0.2ポイント上昇) | 中国 | 2.1% | (0.2 ") |
| 南関東 | 2.4% | (0.4ポイント低下) | 四国 | 2.8% | (0.3ポイント上昇) |
| 北関東・甲信 | 2.2% | (0.3 ") | 九州 | 2.7% | (0.2 ") |
| 北陸 | 1.8% | (0.5 ") | 沖縄 | 3.1% | (前年同期と同率) |
| 東海 | 1.9% | (0.3 ") | | | |

図1 地域別完全失業率

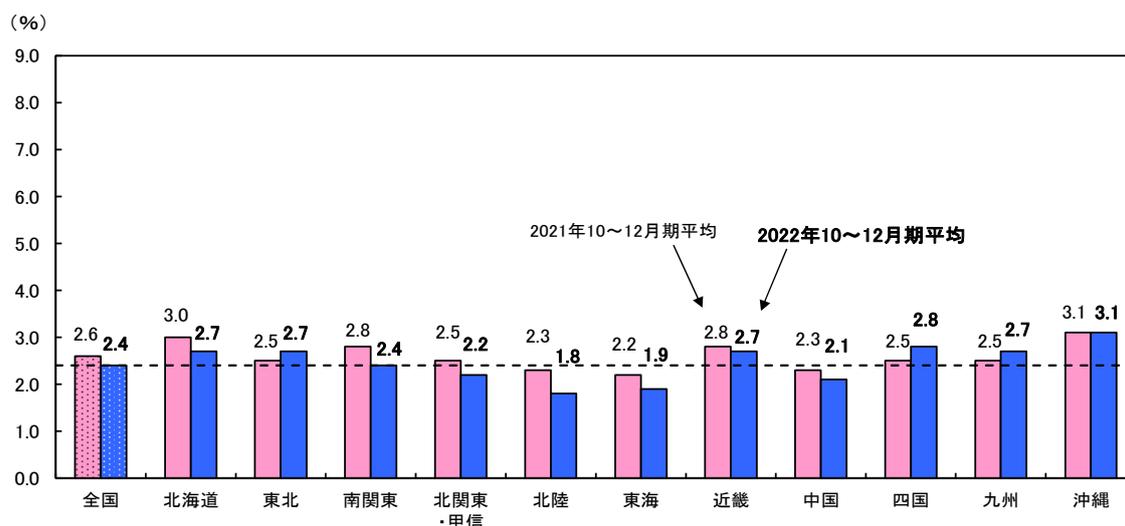


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

